

7 月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和 8 年 7 月 30 日(木)

午前 10 時 30 分～

地域交流センター第 3・4 研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子
委員 坂口曜子 委員 小松小百合
出席職員 麻績小学教頭 滝沢聖二
筑北中学校長 大鷹宏彰 教育長 加瀬浩明
次長 宮下信俊 係長 森山正一 主任 高野智弘

一 開会(宮下教育次長)

令和 8 年 7 月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

保育園は所要につき欠席となります。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教 育 長: ご存じの通り、熊本県で最大震度 7 の大きな地震がありました。学校が夏休みに入っている期間であったので、その面では救われたのかと感じます。余震も続いていて危険な状態だということです。今後さらに被害が拡大していくのではないかと心配されます。早い段階で収まってくれればと願います。

小中学校も休みに入り、ほっと一息というところかと思います。暑い中ではありますが、本日は宜しく願います。それでは 7 月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

三 報告

1) 教育長報告

宮下次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教 育 長: 先ほど話しのとおり、熊本県での大きな地震を受けて、この地域でもいつ起きてもおかしくありません。大規模災害につながるような地震が発生しても全く不思議ではない土地であります。こういった機会にもう一度それぞれ施設の危機管理の状況を確認をお願いします。また、各家庭にも自宅にいるときに災害が発生した時の対応の仕方について確認す

る機会にしてください。啓発をお願いします。

私が以前学校で勤務していた時に台風 19 号災害で、子どもたちの家が 49 件被災しました。何れにしても、大変だったのが安否確認でした。9 時頃から安否確認をしましたが、最終全員の無事を確認できたのが夕方 6 時半でした。災害が発生すると、想定していなかったことが次々と出てきます。頭で考えていることと実際の動きは大きく違ってきます。それぞれのマニュアル等を見直す機会としてください。

また、実際に今回を参考にすると、火災や地震を想定した避難訓練はありますが、爆発を想定した避難訓練は、今まで私の経験上ありません。現状の世の中を考えると、そういうことも起こりうるんだろうと思いました。いろいろなことを想定するのは難しいかもしれませんが、一番は子どもたちの命を守ることが最優先であります。

いろいろなところでシミュレーションしながら備えていただければと思います。

先生方は休み中にも研修や会合等が非常に多くて、通常と違う忙しさがあると思いますが、休めるときには、しっかり休んでください。通常できない業務ができる期間です。先生方によっては通常よりも忙しくなっているのではないかと思います。校長先生方には、先生方の状況を見ていただいて休めるときに休むようにお願いします。

教育委員会としても、おみっこ元気クラブのキャンプを行ったり、二十歳の集いや木曾義仲ゆかりの会総会を実施したりします。次長、係長を中心に準備に取り掛かっている最中であります。大きな行事を控えておりますが、計画通りに推進して役割を務めあげたいと思います。委員の皆様にも何らかの形で、お手伝いいただくことも考えられますので、よろしくお願い致します。

20 日に園長校長会があります。細かなところを確認できればと思います。月の終わりには、村の防災訓練が予定されています。以上です。

宮下次長： 続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

高野 CO：（以下、資料に沿って説明）。

宮下次長： それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長： 園長欠席のため次長代読（以下、資料に沿って説明）。

宮下次長： それでは続いて中学校長報告に移ります。

大鷹校長：（以下、資料に沿って説明）。

宮下次長： それでは続いて小学校長報告に移ります。

滝沢教頭：（以下、資料に沿って説明）。

宮下次長： それぞれからご報告いただきましたが、委員の皆様からご質問等あります。よろしいでしょうか。

坂口委員： 小学校の件でお願いします。海の学習に行ってきたとても楽しかったようです。何事もなく無事に帰ってきてよかったと思います。6年生は、サマーナイトでグッズを売ることになっています。みんな一生懸命に準備に取り組んでいます。子どもたちの成長を感じました。

中学校の職場体験では、いろいろなところに行っていると感じました。子どもが行きたいところに行って、職場体験できたことは貴重な体験でいいなと思いました。この地域ではできない体験ができたのではないかと思います。

宮下次長： その他いかがでしょうか。

小松委員： どの報告を聞いても子どもが自ら学びとってくる体験ができているのでいいと思います。自分の興味関心に対して実現できる工夫がされているのでいいです。職場体験もそうですが、先生方ご苦労されているなと感じました。いずれにしても子ども主体の取組になってきているので感謝の気持ちでいっぱいです。

宮下次長： その他いかがでしょうか。

坂口委員： 毎週水曜日に社会体育で中学校に行っています。すごく気になることがあります。網戸がないのでカエルがものすごく入ってきます。風も虫も入ってきます。網戸を付けてもらえませんか。何か対策があるといいです。

大鷹校長： 風が入ってくるだけいいと思います。通常は大扉と床の風抜きだけになります。

宮下次長： 体育施設にエアコンをという話もあります。教室のエアコン設置が進んだので次は何処かという話題はあります。我々としても一度村側と予算折衝はしている案件となります。暑さ対策は考えなければと思っています。エアコン設置は難しいと思われるので、冷風扇やスポットクーラーなどで対応が現実的かと思います。

坂口委員： 避難場所とか体育館などの大きな場所にはエアコン設置をぜひお願いしたいです。

宮下次長： 地区の公民館にスポットクーラーを配ったところですが、引き続き予算交渉はしていきたいと思います。

小松委員： 今回の件でガス爆発が地震で起きることが分かったので、そういう意識でいると対応できるのではないかと思います。爆発、粉砕によって、140m以上の範囲で物が吹き飛んでいるとのことで、避難場所も考えなければならないと思います。

宮下次長： その他いかがでしょうか。
本日は協議案件がありません。報告の所に部活動の地域展開についてありますので報告したいと思います。

3) 部活動地域展開について

宮下次長： 部活動の地域展開について進捗具合を報告いたします。協議会の中で皆さんに協議していただいて推進計画を作成しています。5月の定例会の際に地域展開のアンケートについて結果報告させていただきました。その結果を落とし込んである状況となっています。

まず、新1年生は12名全員が部活動に今年度は入りました。令和7年度は加入率57%でしたが、今年度は加入率73%となります。1年生女子が少ない学年であるため女子バレー部の加入はありませんでした。剣道部と野球部にそれぞれ2人、吹奏楽部と芸術部にそれぞれ4人所属しました。現時点で所属について若干移動があったようですが、全員部活動を継続しています。野球部については、普段シニアリーグに加入していることもあり、平日の体力づくり目的のために野球部に加入しています。女子バレー部の状況ですが、予選会で敗北となり3年生が引退しました。現在は2年生の2人で活動しています。新しい合同部活について検討を進めています。

推進計画について説明いたします。計画の期間については令和 8 年度を初年度とします。国が示す改革実行期間の最終年度の令和 13 年度末までとして計画期間を定めています。地域指導者への謝礼の支払いなど、令和 7 年以前から取り組みがあるところですが、ロードマップには検討委員会が設置された令和 7 年度から記載しています。国、県のガイドラインを踏まえて村の計画を組み立てています。

本村においても生徒数が減少傾向で推移しています。令和 8 年度は 10 年前と比べて 50 人減少し、38 名となっています。筑北村との組合立を解消し、村単独校となったことも要因の一つですが、いずれにせよ少子化が進んでいる状況です。今後 10 年間は、30 人から 40 人程度で推移する見込みです。現状の小学生の人数から考えれば、しばらく 40 人台で推移するかと思っております。

基本理念については、国県のガイドラインを参考に取り組みを進めていきます。基本目標ですが、麻績村が設置する中学校に係る部活動の検討委員会で示したとおり、県の指針に則り、国が示す令和 8 年度までの改革推進期間中に新たな地域クラブ活動の環境整備を鋭意進め、可能な限り早期の実現を目指しつつ、地域の実情に応じ、令和 8 年度末をめどに休日の運動部の学校部活動について、地域クラブ活動への移行を目指します。

なお、本村では現在、外部指導者が指導に関わっており、地域移行後も引き続き指導いただけることが見込まれています。単独でチームが組めない学校も、顧問教員などの主体的な取り組みにより、合同部活動として活動が継続できています。ただ、中学校体育連盟が主催する大会には、「地域クラブの合同チームの大会出場は認めない」とされていることから、単独でチームをつくれない筑北中学校の現状、団体競技の運動部については、廃止とせざるを得ない状況にあります。

アンケートからは、約 8 割の児童が何かしらの活動を希望していること、また、競技性よりも趣向性を望んでいることがうかがえることから、本村においては大会出場を目指すのではなく、体育協会や公民館クラブと連携した活動とすることが地域移行の第一歩であると考えています。

他方、多くの児童が放課後や休日に習い事をしており、中学生になったら部活動などをやりたいと考えているものの、やりたい競技、活動が中学校にない場合があることや、中学生を対象とした民間のクラブが地域に少ないことなどから、子どもたちの願いをかなえるためには、現在の部活動の形にとらわれない活動の場を作ることも重要であると考えています。個人競技の検討や、一つの競技にこだわらない活動など、青少年期のエネルギーを何かしら発散できる場の提供が課題に挙げられるところではあります。

以上のことから、本村では、部活動を「生徒や教員などにとってより良い形へと創りかえたい」という想いと、子どもたちの「やってみたい」「続けたい」「上達したい」といった多彩な願いをかなえる活動の場を創るという想いを込めて、基本目標を設定し、具体的な事業を展開していきます。

女子バレー部は、大会出場を目的として考えますと、麻績村としてバレー部単独で地域移行した場合に、他のチームと合同チームを組めません。保護者と子どもたちに意見を聞いてみようかと考えています。小学生も活動に参加してくれているので、具体的に聞いてみようかと思えます。

現状の報告になります。県の部活動の地域展開コーディネーターが午後來てくださる予定になっています。他の取組を聞いてみたり、我々の取組を見てもらったりする中で、ご意見をいただきながら進めていきたいと思えます。

以上となります。質問があればお願いします。

坂口委員： 麻績村で地域移行したなら、麻績村としてしか大会に出られないのですか。筑北村と一緒に地域移行したら、聖南中と一緒にのチームで参加できるということですか。

宮下次長： 麻績筑北で地域クラブをつくれれば大丈夫です。

坂口委員： 今筑北でもバレーボールジュニアクラブがあって、麻績の子も行っています。最終的には試合出場を目指して練習しています。親としては大会には出させてあげたい思いでいます。8月2日に聖南中と筑北ジュニアと筑北中学校バレー部で合同練習も予定されています。交流は始まっている感じがします。大会出場という目標がないと上達はしないと思います。ただ楽しくやるのもいいのですが、何の目標もないスポーツは難しいと思います。できるならば、大会出場できるチームを麻績と筑北で作り上げてほしいです。

宮下次長： 令和6年度時点は合同でという雰囲気はありました。しかし、部活動の加入率など大分違う状況が当時あって、そこを埋められず各々単独で進めたほうが良いかなという進み具合になっています。バレー部に関して言えばレベル差を気にしていて、一緒にやったところで後々やめてしまうのではないかと心配していました。今の話を聞いて小学生から一緒にやっているということなので、現状の生徒とは違う状況なので、この先のことを考えると一緒にやっていくのもいいのではないかと改めて認識すること

ができました。筑北村へも様子を聞いてみようかと思います。

坂口委員： 筑北地域で一つのチームを作って大会に出場できればいいと思います。峠を越えての送迎は、保護者の中でもかなり妨げとなっています。

宮下次長： 現状このようになっております。今後、保護者や子どもたちから意見を聞く中で村にとっての地域展開を考えていきたいと思います。

計画案となっていますので「案」がとれる状況になりましたら、定例会で諮っていききたいと思います。

四 協議事項

教 育 長： 協議案件はありませんので、その他の部分で委員の皆様からお願いします。

五 その他

1) 各委員から

教 育 長： 委員の皆様から何かございましたらお願いします。

小松委員： 地震とか気象状況で集中的にすごい雨が降ったりします。とにかく今までの常識が通用しない自然環境となっています。いろいろな考えを巡らせて対応していかなければならないと感じています。

坂口委員： 子どもたちの通学状況についてお願いします。いろいろ心配です。村営バスで通園通学しています。バスの乗り方に関していろいろあって、保育園児が乗っていたら運転手に「うるさい」と言われてからバスに乗っていないそうです。

この件について「いいのかなそれで」と私は思いました。親にも保育園にも言っていないくて、その子に怒ったようです。お父さんは、こういうことは二回目ですばらくは乗せられないから送り迎えしているといっていました。

やはり、スクール・園バスで先生が誰か一人乗るという状況でなければと思います。

以前ブレーキを踏んで頭をぶつけた件についても、保護者は「うちの子が悪いんです」と言っていました。どうしてももっと言わないのと思いました。せめて園児の乗るバスには、保育士が乗らないといけないんだろうなと思います。ただ娘の話によれば、「小学生はもっとうるさいよ」と言っていました。検討してもらいたいと思います。

高野委員： 大人が乗って解決するかどうかですが、保護者にも協力を求めなければならぬかと思います。

バスに関してスクールバスを新たに運行することは難しい状態ではないかと思います。デマンドバスとかやっているのも、空いている時間の運行が可能かどうか検討してみるのも一つの方法かもしれません。他の自治体でもデマンドバスを利用してスクールバスの時間を作って併用して運行しているところがあるようです。デマンドバスが使える要素があるのであれば是非考えていただきたいと思います。

災害の話もありましたが、身近な災害で言えば獣もそうですが、山火事が心配です。そういった場合に子どもたちを守れるか目を向けてもらいたいと思います。不意の災害に対して対応できるように常日頃から心がけておくことが必要かと思います。

小山職務代理： 私、持ち回りで今年長野県市町村教育委員会連絡協議会代議員になっております。先日、県教育委員会と懇談会がありました。武田教育長から今年の教員採用試験応募者数についての話がありました。県教委としても大変危惧されていました。教員の志望動機に「中学の時の先生にあこがれて」と言って志望する受験生があります。中学校の多感な頃は周りからの影響を受けるものですから、教員も選択肢の一つに入るようお願いしたいと思います。振り返ると去年の麻績村の二十歳のつどいでも2人ほど教員志望の方がありました。教員を志望する人を増やしていただきたいなと思います。それと、教員になっても何らかの疾患や途中退職する人も増えている中で、先日の新聞記事にもありましたが、それによると精神疾患による離職が過去最多とありました。話しやすい雰囲気づくりは大事なのかと思います。中には、話せば何とかなるかということもあります。忙しいかもしれませんが愚痴を言い合える環境づくりをよろしくお願いします。

2) 事務局から

教 育 長： 事務局より連絡事項をお願いします。

宮下次長： 8月6日に県教職員組合松塩筑支部と懇談会が予定されています。教育長と職務代理が出席予定です。8月7、8日にはおみっこ元気くらのサマーキャンプを予定しています。8月15日は地域交流センターで二十歳のつどいがあります。11月21日には木曽義仲ゆかりの会の全国大会があります。コロナ禍でしばらく行っていませんでした。令和6年度に

信州新町で行われて、二年に一度会場持ち回りということで麻績村で開催します。8月17日に総会を行ったうえで正式に決定することになります。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 9月10日（木） 午前9：30～

六 閉会

教 育 長: 以上をもちまして7月の定例教育委員会を閉じます。